

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	673100087
法人名	株式会社 ケアサービス つきみ
事業所名	グループホーム ねずがせき
訪問調査日	平成 19 年 7 月 3 日
評価確定日	平成 19 年 9 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月29日

【評価実施概要】

事業所番号	673100087		
法人名	株式会社 ケアサービス つきみ		
事業所名	グループホーム ねずがせき		
所在地 (電話番号)	山形県鶴岡市鼠ヶ関字横路9番3号 (電 話) 0235-48-4555		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年7月3日	評価確定日	平成19年9月7日

【情報提供票より】(平成19年6月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 11 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	15.12 人

(2) 建物概要

建物形態	併設/○単独	新築/改築
建物構造	木 造り	
	2 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,520 円	その他の経費(月額)	8,010円 他、実費
敷 金	有(円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(6月7日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	14 名
要介護1	2 名	要介護2	10 名	
要介護3	4 名	要介護4	1 名	
要介護5	1 名	要支援2	名	
年齢	平均 82 / 84 歳	最低	72 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤診療所、阿部医院、山北徳洲会病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームのすぐそばに海と山の両方があるという恵まれた環境の中、新鮮で季節感溢れる「海の幸」「山の幸」などの食材を用いた「昔ながらの地元の味」を、利用者自らが職員に伝えている姿が印象的なホームです。また、ゲートボール、レクリエーション、利用者との座談会など、利用者の希望を聞きながら、どんな時でも利用者を受け入れることを忘れずに、寄り添うようなケアを心がけているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 道路からホームまでの経路の案内表示が少なく訪問者が戸惑いやすいため、案内表示等の工夫が期待された点については、その後に設置した案内表示も小さくて見にくいいため、再検討が望まれる。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 経営者は、時々ホームに来て状況を確認しているが、忙しい勤務時間のため自己評価は一部の職員のみで行っているため、自己評価は職員全員で取り組み、共通認識に基づいた課題改善をより効果的に進めていくことが期待される。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヶ月ごとに開催され、利用者の状況、職員体制、緊急時や火事・地震・無断外出時の対応についての話し合いが行われており、また、家族会の立ち上げにも役立っている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会の話し合いの時や面会の都度、出てきた意見を「苦情ノート」にまとめ、その内容を全職員に周知徹底しながら改善に取り組んでいる。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会には入会しているが、地域活動には参加しておらず、これから地元の方々との交流を深められるように連携を深めていく段階にあるため、自治会長が運営推進会議のメンバーになっていることも生かし、地元の人々の協力を得ながら地域活動をより推進していくことが期待される。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所時に作成した理念があり、利用者にはその理念で接しているが、地域密着型サービスとしてグループホームという視点からの理念の見直しについては、まだその途上の段階である。	○	利用者の視点からの認知症介護に合わせた地域密着型サービスの理念の作成が期待される。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎週月曜日の申し送り時や毎月1回開催される職員会議の時に、事業所の理念と介護理念の唱和と確認を行いながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には入会しているが、地域活動には参加しておらず、これから地元の方々との交流を深められるように連携を深めていく段階にある。	○	自治会長が運営推進会議のメンバーになっていることも生かし、地元の人々の協力を得ながら地域活動をより推進していくことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	経営者は、時々ホームに来て状況を確認しているが、忙しい勤務時間のため自己評価は一部の職員のみで行っている。	○	自己評価は職員全員で取り組み、共通認識に基づいた課題改善をより効果的に進めていくことが期待される。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催され、利用者の状況、職員体制、緊急時や火事・地震・無断外出時の対応についての話し合いが行われており、また、家族会の立ち上げにも役立っている。		

山形県 グループホームねずがせき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域のケア会議(小会議)を定期的を開催しており、担当者と意見を交換しながら質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム発行の「ねずがせき新聞」を毎月送付しており、全体の職員の異動や個人ごとの様子、健康について報告している。また、面会時に金銭の支出内容の説明を行い、確認のサインを家族からもらっている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会の話し合いの時や面会の都度、出てきた意見を「苦情ノート」にまとめ、その内容を全職員に周知徹底しながら改善に取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動があっても、介護の水準を一定に保ちながら利用者が援助を受けられるように、ホーム全体を4ブロックに分け、ケース担当を決めて対応している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修を段階に応じて受講しており、戻ってから報告研修で全職員に伝達している。また、職員会議の場でも移乗や清拭等の学習を行っている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会に参加し交換実習を行ったり、新鶴岡市全体で行われているケアネット会議に参加しながらネットワークづくりを行っている。</p>		

山形県 グループホームねずがせき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	買い物や食事を共に作ったり、山菜の調理法や祭りの準備を教わったりしながらの関係を築くようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	週2回の座談会を開催しながら本人の意向を確認したり、家族からの希望も聞きながら、本人主体の支援に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の検討会で課題等の話し合いを行い、家族との面会時に希望や意見を確認して介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、本人の状況や体調の変化に応じて話し合いや見直しを行っている。		

山形県 グループホームねずがせき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	入居時に本人、家族の希望を確認し、入居前のかかり つけ医をそのまま継続している利用者も多い。通院も 職員の付き添いで、それぞれのかかりつけ医に行っ ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	終末期については昨年度から話し合いを行っており、 これからも定期的に行っていく予定である。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	プライバシーに注意した声かけや誘導を行っている。ま た、記録についても取り扱いを注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの日程や職員の都合ではなく、利用者の希望や 体調、状況に応じて支援を行っている。		

山形県 グループホームねずがせき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	海と山が近くにあるため、季節の食材を活かし、利用者から調理法や味付けを聞いたりしながら、一緒に準備や片付けをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室の大きな窓から雄大な日本海を眺めながら、利用者の希望に応じて入浴内容や回数の対応を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎年、定期的に近くのホテルで観劇を観賞したり、ドライブ、買い物、ゲートボール、畑作りを通して、利用者の役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの希望をできる限り取り入れて、その日の体調や状態に応じて出かけるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵はかけておらず、見守りを重視して一緒に行動するようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議に消防署も参加して、地域の消防団の協力も得ながら、年2回の防災訓練を実施している。また、地元にある大きな会社へ日中の援助協力体制のお願いに行く予定である。		

山形県 グループホームねずがせき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居前に比べてしっかり食事が摂れるようになった利用者もおり、水分も利用者に応じて十分取れるようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	寒さ、湿気、カビなどの対策のために、利用者の居室があるホーム1階の窓を全部二重サッシに交換する予定があり、また、暑さ調整にすだれを使用している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた品物を居室に持ってきて、居心地よく馴染みの部屋になるように工夫している。		